

一般配管用  
ステンレス鋼鋼管の拡管式管継手

ナイスジョイント  
**Nice Joint**

施工・点検・改修工事も容易なナイスジョイント  
各種消火設備用継手として使用できます。

**[ナイスジョイント 消防認定品]**

※20Su ~ 100Su 対応



軽量化と施工効率が期待出来る、耐久性にも優れた  
「一般配管用ステンレス鋼鋼管」が採用されるケースが増えてきました。

※消防法施工規則の改定により、消防設備配管に一般配管用ステンレス鋼鋼管  
JIS G 3448 SUS304TPD が使用可能

## ナイスジョイントの主な特徴

### 圧力配管用炭素鋼鋼管との比較

#### 《ステンレス化で軽量化》

重量が約 1/3 となり  
軽量化出来ます。



#### 《配管サイズダウン検討可能》

同口径で断面積が約 17% UP。  
流量係数が約 1.4 倍。  
上記から検討が可能です。



#### 《簡単現場施工》

その日のうちに採寸し加工、  
接続出来ます。



#### 《優れた耐震性》

拡管式の独自構造と袋ナットで  
より強い力にも耐えます。  
(可撓性 2°)



### 軽量! 優れた施工性で作業効率UP!

Sch40(100A) 重量: **16.0kg/m**

約1/3の  
重量!

Su管(100Su) 重量: **5.6kg/m**

Su管はSch40に比べ重量が約1/3と非常に軽量!  
運搬作業などが楽になり、また安全性も向上!  
施工速度が速く、省力化も期待できます。

### 大きい内径で配管のサイズダウンが可能

Sch40 厚み: **6mm** 内径: **102.3mm**

約1/3の厚み!  
内径差8mm!

Su管 厚み: **2mm** 内径: **110.3mm**

Sch40と比べSu管は管の厚みが1/3、内径差は8mm  
よって管内断面積は広がる(約17%UP)

#### 圧力損失が少ない!

配管用炭素鋼鋼管(SGP) C = **100**

流量係数 約1.4倍!

一般配管用ステンレス鋼管 C = **140**\*

※平成28年消防庁告示 第7号より

Sch40と比べSu管は材質内面が滑らかな事から、  
流量係数Cの値が大きくなる(表面粗度が小さい)

## 使用可能な該当設備および認定番号一覧 材質: SCS13 (SUS304)

※ 認定品の詳細については、ナイスジョイントカタログをご参照ください。

製品名	ナイスジョイント			ステンレス鋼製ねじ込み継手
認定番号	PJ-164-2号	PJ-172号	PJ-281号	PJ-171号
型式記号	NJ	NJL	NJL2	ST
呼び径	20,25,30,40,50,60Su (15,20,25,32,40,50A)	75,80,100Su (65,80,100A)		21/2,3,4 (65,80,100A)
該当設備	屋内消火栓設備	○	○	○
	スプリンクラー設備	注1) ○	注1) ○	注1) ○
	水噴霧消火設備	○	○	○
	泡消火設備	○	注2) ○	○
	屋外消火栓設備	○	○	○
	連結送水管	-	○	○

注1) スプリンクラー設備 (小区画型ヘッドを用いる場合は湿式に限る)

注2) 泡消火設備 (泡消火剤混合装置の一次側で水配管に設けるものに限る)

特殊試験 (気密試験合格、耐薬品性試験合格)  
最高使用圧力 (2.0MPa)

※ 認定取得に係る試験として、外観・寸法・形状・漏れ・耐圧・破壊・水撃圧・曲げ・引張・等価管長・表示の他に、特殊試験があります。

①特殊試験の項目には気密試験、耐薬品性試験、耐熱性試験があります。

②気密試験はスプリンクラー設備の認定取得に必要です。

③耐薬品性試験は泡消火設備の認定取得に必要です。

④耐熱性試験には樹脂系材料で作られた商品での認定取得に必要です。

⑤継手の表示義務として型式や認定番号の他に、「特殊試験」に合格したのものには、その旨の記載が必要です。

## 連結送水管の乾式<sup>※1</sup>でも使用可能!

※1 (ビット・PS等の隠蔽部又は断熱処置での使用。所轄の消防署に確認が必要となります。)

## スプリンクラー設備で耐震対策! 泡消火設備<sup>※2</sup>でも使用可能!

※2 (耐薬品性試験の認定取得済)